

様

「戦争か平和か～この 150 年を考える」つどいと展示（仮称）

の開催についてのお願い

春爛漫ですが、世の中は貧困格差も大きく、改憲への暗雲も漂っていて、パッと晴れません。皆さん元気でご活躍のことと、心より敬意を表します。

さて、今年が明治の時代がはじまって 150 年になります。すでに、政府が率先して「明治 150 年記念事業」を推進し、明治維新が日本近代化の出発点だとし、それを担った立役者たちを美化するキャンペーンが行われています。

しかし、その「近代化」の歩みとは、欧米列強に見習って、強大な軍事力を背景に数々の戦争と侵略を繰り返してきた「戦争の歴史」だったのではないのでしょうか。

その真摯な反省によって、戦後になって主権在民の平和憲法が制定され、この国は 70 年余り、軍隊が他の国に行って一人も殺さず、殺されることもない平和国家になったのです。

だが、ここ近年改憲勢力が大きくなり、安倍自民党は今年中にも 9 条を変える国会発議をしたいとしています。そればかりではなく、安倍政権は、被爆者だけでなく世界の人々の願いである核兵器廃絶にまったく背を向けています。

こうした状況にあって、私たちはこの国の 150 年をふり返ることはたいへん重要だと思います。この夏に、3 年前の「戦後 70 年展」に続き、ふたたび戦争する道を選ぶのか、それとも平和国家として尊敬される道をめざすのか、これを多くの人たちといっしょに考える場を持ちたいと思います。

準備期間は短いですが、前回の経験を生かして内容を精選し、力を合わせれば成功させることができると思います。この企画にぜひともご協力をお願いします。その準備会を下記のとおり開きます。お忙しいこととは存じますが、万障繰り合わせて出席くださるようお願いいたします。

呼びかけ人

今井雅巳（「中帰連平和記念館」理事）

魚次龍雄（「岐阜市平和資料室友の会」事務局長）

木戸季市（「日本原水爆被害者団体協議会」事務局長）

近藤 真（「岐阜県憲法会議」代表委員）

吉田千秋（「岐阜・九条の会」代表世話人）

→当面の連絡先：吉田(090-7917-9602)まで

記

【名称】 「戦争か平和か～この 150 年を考える」つどいと展示（仮称）準備会

【日時】 2018 年 5 月 2 日（水）16:00～18:00

【会場】 岐阜県教育会館 4 F 会議室 （岐阜市徹明通 7 交差点南西角）

【議事】 つどい・展示の目的、名称、内容、体制、準備などについて

以上